

全校朝会講話 2020.12.7

皆さんおはようございます。

先週の全校朝会では、金子みすずさんの「みんなちがってみんないい」という詩を紹介しました。世の中にあるものは、違うものばかり、同じというものは、ほとんどありません。違って当たり前、みんなちがって それでいいんだ という話をしました。

教室の中では、算数が好きな人もいれば、体育が好きな人もいます。えをかくのが得意な人もいれば、歌を歌うのが得意の人もいます。ご飯が好きな人もいれば、パンが好きな人もいます。

世界に目を向けると、肌が黒い人もいれば、髪の毛が金髪の人もいます。日本人は目が黒いですが、ヨーロッパの人は目が青い人が多いです。

大人の世界を見れば、野球選手、サッカー選手、スケートの選手などスポーツを仕事にしている人もいれば、お医者さん、看護師さん、救急救命士など病院や消防署に努めている人もいます。魚屋さんや八百屋さん、牧場で働いている人や花を栽培している人もいます。その他、物を売っている人もいれば、家を建てる仕事をしている人もいます。たくさんの仕事があるのですが、どんな仕事も大切な仕事、なくてはならない仕事です。

その中に、ゴミを毎日集める仕事をしている人がいます。汚れてしまったり、大変だったりと思われる仕事ですが、その仕事をする人とこの間、会ってお話をする機会がありました。それは、緊急事態宣言の出ているときのことでした。緊急事態宣言のために、学校は休み、仕事もテレワークで自宅で仕事をする人がほとんどでした。生活に必要な物を買に行くほかは、家の中で過ごすという人ばかりの時、そのごみを集める仕事している人は、いつも通りの仕事だった、というのです。そうです。ごみは、どんな時でもたくさんでるのです。たとえ緊急事態宣言が出ていても変わらないのです。そのごみの中には、新型コロナウイルスに感染した患者さんが使ったものもあったかもしれません。ごみを集めることがとても危険な状態だったのです。しかし、その人は、いつもと変わらず一生懸命、清掃車に乗って、ゴミを集めていたそうです。それを見ていた何人もの人に、いつもありがとう、という言葉がかけられたそうです。普段は声をかけられることはなかったのですが、緊急事態宣言が出ている最中にもかかわらず、一生懸命ごみを集めるその人に、感謝の気持ちを伝えなくなった人は数多くいたそうです。

仕事はたくさんの種類があって、汚れてしまったり、大変だったりする仕事もありますが、どんな仕事でも大切な仕事です。同じように、人はいろいろな人がいます。最初に話したように、人は違

って当たり前だし、どんな人でも大切な人なんです。すべての人が大切な人なんです。

世界の人には、それぞれ肌の色も違うし言葉も違う。ものの考え方も違います。でも、それでいいんです。すべての人が大切、このことを考えるのが、今、人権週間なんです。

今皆さんは人権標語を作って、勉強していますね。この人権週間だけではなく、自分も友達もすべて、大切にしてほしいと思います。

これで、校長先生のお話を終わります。